

2025 年 7 月 24 日

株式会社オプロ

三十三銀行が帳票出力 DX サービス「帳票 DX」を導入
— 住宅ローン業務のデジタル化を支援し、業務効率化とデータ活用の迅速化を目指す —

株式会社オプロ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：里見一典、以下オプロ）は、株式会社三十三銀行（本店：三重県四日市市、取締役頭取：道廣剛太郎、以下三十三銀行）が、弊社の帳票出力 DX サービス「帳票 DX」を導入したことをお知らせいたします。



導入の背景・期待する効果

三十三銀行は、2024 年 4 月より開始した「第 3 次中期経営計画」において、「地域信頼度ナンバー 1 金融グループ」をビジョンに掲げ、「DX の推進による営業スタイルの変革」を基本戦略の一つに据え、変革を推進しています。特に、住宅ローン業務の強化は喫緊の課題であり、これまで紙ベースでのやり取りが必須であった手続きのペーパーレス化、分断された複数システムの統合による行員の負荷軽減、そしてオンライン完結での手続きによる顧客体験向上への取り組みが求められていました。

・業務効率化と生産性の大幅な向上

帳票 DX と併せて導入された AI-OCR 書類データ化ソリューション「docutize OCR」は、手書きや活字の書類を自動でデータ化し、データ入力作業を不要にします。これにより、行員は事務作業から解放され、顧客対応など付加価値の高い業務に集中できるようになります。

・顧客体験の向上とデータ活用の迅速化

取り込んだ帳票データは Salesforce 基盤を通じて「nCino」とシームレスに連携し、行員の利便性向上に寄与します。融資プロセスが一元化され、正確なデータに基づいた迅速な意思決定を可能にし、顧客ニーズに合わせたサービス提供を加速します。

帳票 DX の概要

「帳票 DX」は、オプロが提供するデータオプティマイズソリューションの中核をなすサービスであり、日本のビジネスに不可欠な帳票業務のデジタル化を支援します。SFA/CRM をはじめとする業務支援ツール上のデータを、自由なレイアウトで帳票として出力可能で、帳票設計・出力の内製化を直感的な UI で実現します。

さらに、電子契約サービスやクラウドストレージ、AI-OCR との連携によって、帳票出力後のワークフロー全体を自動化可能です。加えて、Salesforce 上での申請・承認プロセスをデジタル化する電子申請サービス「カミレス」との組み合わせにより、申請・承認から帳票生成に至る一連のプロセスをシームレスにデジタル化できます。

・サービスサイト：<https://www.formdx.com/>

株式会社オプロ

オプロは「make IT simple」のミッションのもと、お客様の新たなビジネスや価値の創出を支援します。「Less is More」を開発指針とし、データオプティマイズソリューション・セールスマネジメントソリューションを通して最適なサービスを提供しております。そして、真のカスタマーサクセスを実現すべく、サービスを更に進化させてまいります。

・<https://corp.opro.net/>

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

株式会社オプロ（東京都中央区京橋 2-14-1 兼松ビルディング 9F）

お問い合わせ先：<https://corp.opro.net/contact/media.html>（広報チーム）